

# 各区地域包括ケアに関する取組

東 区

## 〇概況

令和2年3月末現在

<b>【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】</b> 東区は7区の中で最も人口が多い。多々良川や三日月山、海の中道など豊かな自然に恵まれる一方、国道3号、鉄道、都市高速道路などが集中し、九州の物流拠点となっている。また、アイランドシティや千早・香椎駅周辺、九大箱崎キャンパス跡地などで新しいまちづくりも進んでいる。 <b>【高齢者の状況（高齢化率や介護保険受給者状況）】</b> 高齢化率は、50%を超える校区がある一方、5%程度の校区もあり地域差が大きい。 <b>【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】</b> 丘陵地の校区や市営住宅・県営住宅等の大規模団地が多い校区では、高齢世帯が増えており、まちづくりの中心となる年齢層が少なく担い手不足が生じている。	人口（人）	300,033
	高齢者数（人）	67,208
	高齢化率（%）	22.4
	小学校区数	29
	いきいきセンター圏域数	11

## 〇地域包括ケアに関する現状と課題

〇医療・介護：医療と介護の連携においては、多職種連携研修会や各専門職相互の勉強会や交流会等の開催により、入退院時連携に関わる職種同士の相互理解や連携は深まってきているが、連携のさらなる強化を推進していくことが必要である。

〇生活支援・保健（予防）：医療・介護・地域のネットワーク推進をめざし、27年度から4つのブロックごとの医療、介護、地域の連携会議に着手し、元年度までに全ブロックで開催。この会議や圏域連携会議、高齢者地域支援会議を通して、三者の連携や事業所ネットワークの立ち上げが促進された。事業所ネットワークが地域の活動として根付いていくこと、および4ブロック全てにおける地域連携会議等の開催に向けたブロック支援病院・事業所ネットワーク・地域の調整が課題である。

## 1. 令和2年度取組の中で、特徴あるもの

### 取組内容

- 医療・介護・地域の連携強化を図るため、6カ所のブロック支援病院と14の事業所ネットワークとの情報交換会を開催する。
- 平成31年度に引き続き、健康寿命の延伸を目指し、高齢者が身近な場所で主体的に運動に取り組む場として『よかトレ実践ステーション』の登録推進を図るとともに、事業所ネットワーク等を対象とした「よかトレ実践ステーションサポーター」を養成することで、よかトレ指導者を増やし地域の活動を支援する。

### (1) 4ブロック合同の情報交換会を開催



### (2) 健康寿命延伸に向けた取組み

**よかトレの登録推進チラシ&扇子(区版)**

**よかトレサポーター養成講座**

「よかサポ」は、よかトレの実技指導等を実施する**ボランティア**のサポーターです。よかトレの指導方法等は養成講座で、保健所の運動指導士からの講習を受けていただきます。

## 2. 令和元年度の取組状況

### ① 個別支援における成功事例，課題など（個別支援会議の傾向など）

個別支援会議を開催した61例のうち，85%は認知症または何らかの精神疾患のある高齢者，48%が独居であった。地域での見守りやインフォーマルサービス，成年後見制度の活用等を検討する事例が増えている。

個別支援会議開催状況 ・会議回数：61回

### ② 住民同士の助け合い・支えあい活動

#### 八田校区認知症声かけ訓練

地域住民が認知症のことを理解し，その対応について学ぶため，地域と事業所と連携し声かけ訓練を実施



#### 城浜・美和台校区

#### 市と共に買い物支援のモデルづくり

移動販売車による買い物支援，本格実施に向けてプレ実施



#### 和白・舞松原校区

#### 福祉のまちづくりプラン作成



みんなの想いを見える化！

高齢者地域支援会議  
開催状況

・会議開催校区（地区）数：12校区（地区），延べ回数：18回

・検討内容：高齢者の実態・課題について意見交換し，地域で高齢者を支えるための解決策検討，取組開始

### ③ 在宅医療・介護連携や多職種連携の推進に向けた取組

医療機関・介護事業所・地域のネットワーク推進をめざし，香椎ブロックで開催。9月のシンポジウムに向けて，ブロック支援病院や事業所ネットワーク，地域包括支援センター，区社協，地域団体等を対象に，ワークショップを4回開催しシンポジウムを共に創り上げる機運を高めた。

（30年度）1/30 ワークショップ①

（元年度）7/29 ワークショップ②-A

8/ 8 ワークショップ②-B

9/12 ワークショップ③

9/27 香椎周辺地区地域包括ケアシンポジウム

#### 香椎周辺地区地域包括ケアシンポジウム



ブロック支援病院と事業所ネットワークによる取組の報告

事業所ネットワークと地域団体によるパネルディスカッション



圏域連携会議  
開催状況

・会議回数：5回

・検討内容：孤立を防止する支援の検討，民生委員と医療介護の専門職の相互理解，認知症事例等の検討

### ④ 区レベルの取組（特徴ある取組）

H30年度より，自分や家族が要介護状態になったときなど将来を考えることを目的に，在宅医療のはじめ方や介護保険の利用の仕方を知る「介護の備え講座」を開始。元年度は7回開催，226名が参加。

区地域包括ケア  
推進会議開催状況

・区地域包括ケア推進会議：1回

・部会 ①在宅医療・介護部会：1回，②権利擁護部会：1回，③生活支援・介護予防部会：1回

・検討結果等：高齢者の意思決定支援，被虐待者の一時保護施設等の設置，若い時から地域活動に参加したくなるような仕掛け・仕組みづくり等について意見交換。

### (2) その他，在宅医療・介護連携の推進に関する取組，事業所ネットワークの活動等

取組	具体的内容
多職種連携研修会	東区医師会、福岡東在宅ケアネットワーク、東区保健福祉センターの共催で開催。（3回，計285名参加）
市民向け在宅療養シンポジウム	「安心して家で暮らしたい～知っておきたい在宅医療と緩和ケア～」と題し，在宅医療や看取りの啓発を実施。（1回，140名参加）
同一業種による連絡会開催 ①小規模多機能 ②訪問看護	①医療や介護連携に関する情報提供や課題の確認，CMとの事例検討会の支援，訪問看護の啓発のための支援を行った。 ②医療や介護連携に関する情報提供や家族の会への支援，小規模多機能施設の啓発の支援を行った。
事業所ネットワーク	・福祉施設・介護事業所・医療機関などがネットワークを組んで横の連携を図るとともに，地域貢献として学習会の開催，健康サロン・カフェの支援，会食会の送迎，認知症カフェの開催などに取り組んでいる。 ・令和2年3月末現在，14団体が結成され東区全校区で活動している。
健康寿命延伸に向けた取組み	「健康寿命を延ばそう！～フレイルってなあに？～」と題し，東区健康づくり講演会を開催した（1回343名参加）。よかトレは31年度末現在29校区，93団体・カ所が登録している。